

▼ケービピック錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ダリドレキサント塩酸塩 Daridorexant Hydrochloride [ACT-541468] 【分類】不眠症治療薬 [オレキシン受容体拮抗薬]

【単位】▼25mg・▼50mg/錠

【常用量】1日1回50mg [状態に応じて25mg]

中等度の肝機能障害もしくは中程度のCYP3A阻害剤併用時に投与する際は25mg/日

【用法】就寝直前

【透析患者への投与方法】常用量(1)

【保存期CKD患者への投与方法】常用量 [腎機能低下はPKに影響しない] (1)

【特徴】オレキシン受容体タイプ1/タイプ2両方の活性を抑制するデュアルオレキシン受容体拮抗薬で、従来のオレキシン受容体拮抗薬より半減期が短い。

【主な副作用・毒性】頭痛、疲労、悪夢、幻覚、めまい、悪心、過敏症など

【安全性に関する情報】

【吸収】食事により吸収低下(1)

【F】62%(1)

【tmax】1.2hr(1)

【代謝】CYP3A4で代謝 [寄与率89%] (Treiber A, et al: ChemMedChem 2023 PMID: 36892179) 代謝物に活性なし (Treiber A, et al: Xenobiotica 2023 PMID: 36809238)

【排泄】尿中未変化体排泄率0.3%未満(1) 尿中回収率28%(1) 代謝物M3, M10はMDR1/P-gpの基質(1)

【CL】4.97L/hr [iv](1)

【t1/2】8hr(1, Uchiyama M, et al: J Sleep Res 2024 PMID: 39118245)

【蛋白結合率】99.9%(1)

【Vd】31L/body [iv](1)

【MW】487.38

【透析性】除去されない(1)

【O/W係数】LogP=3.8 [1-オクタノール/buffer, pH 7.4]

【相互作用】弱いCYP3A4阻害作用 (Zenklusen I, et al: Drugs R D 2024 PMID: 38472696) わずかなP-gp阻害作用あり, BCRPには影響なし (Anliker-Ort M, et al: Clin Drug Investig 2023 PMID: 37858005)

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20241102

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。